

# キャンドルHi

## ～くし引き仕上げ～ 施工マニュアル

技-202511-001-07



2025年11月

富士川建材工業株式会社

## ●使用材料

製品名		荷 姿 / セット内容 (A+B+C)			塗面積
下 処 理	シーレックス	16kg 缶			約 320 m <sup>2</sup> (4 倍希釈液)
	AF5000	4kg ポリ容器			約 80m <sup>2</sup> (4 倍希釈液)
仕 上 材	キャンドル Hi	①粉袋	②混和液	③液体顔料 ※1	上下 約 6 m <sup>2</sup> 分/1 セット
		「キャンドル ベース」 (20kg/袋)	「キャンドル Hi 混和液」  (7kg/袋)	「キャンドル Hi 顔料」 (液体/ポリ瓶)  CH-122~140 (標準色:20 色)	下塗りのみの場合 約 30 m <sup>2</sup> 分/1 セット  上塗りのみの場合 約 8.5 m <sup>2</sup> 分/1 セット
	骨材※3	寒水石 3 厘 8kg/セット (上塗り) 寒水石 5 厘 8kg/セット (上塗り) 市販品(現場手配)			—

- ※1 顔料は、キャンドル Hi 1 セットに対して 1 本全量使用します。  
顔料は沈殿する事があります、良く振ってから使用してください。
- ※2 CH-ベースに顔料は付属しません。
- ※3 色ブレ防止のため、骨材割合・水量・攪拌時間を順守してください。

## ●主な施工道具

シーラー	ローラー・エアレスガン
下塗り	金ゴテ
上塗り	金ゴテ
パターン付け	くし目ヘラ

## ●下地及び施工条件

- モルタル金ゴテ押さえ下地。
- 必ず、下地のモルタル施工後、10 日（冬期 14 日）以上養生後、施工してください。
- モルタルにクラックがある場合は補修してから施工してください。
- 表面強度が不足する場合は補強してください。
- 施工面以外は養生し、万一付着した時はすぐに水洗いしてください。
- 降雨直後の施工は避け、壁面が乾燥したことを確認し、施工してください。  
(含水率 10%以下 pH10 以下)
- 気温 5℃以下、湿度 85%以上の場合は施工を避けてください。

## ●練り混ぜ

### ① 練り混ぜ方法及び顔料の混合方法

#### キャンドルHiの混合方法

- ・プラスチック又はステンレスの容器に、キャンドルHi混和液を入れます。
- ・次に顔料（液体/ポリ瓶入り）を投入し、顔料が入っていた容器の1/3まで水を入れ、蓋をして容器を振り、顔料容器内の顔料も奇麗に容器に出しきります。
- ・キャンドルHi混和液と顔料を、ミキサーで10～20秒混ぜ合わせます。
- ・キャンドルベースを加え、電動攪拌機で1分混練りします。
- ・下塗りの場合は、必要に応じて水（0～0.5kg）を加え、さらに1分間作業しやすい状態に練り混ぜてください。
- ・上塗りの場合は、骨材と水（2.5～3kg）を加え、1分間作業しやすい状態に練り混ぜてください。

### ② 下塗り用材料の配合割合

製品名	部材	配合割合
キャンドルHi	キャンドルベース	20kg
	キャンドルHi混和液	7kg
	キャンドルHi顔料	1瓶（重量は色により異なる）
	水道水	0～0.5kg

### ③ 上塗り用材料の配合割合

製品名	部材	配合割合
キャンドルHi	キャンドルベース	20kg
	キャンドルHi混和液	7kg
	キャンドルHi顔料	1瓶（重量は色により異なる）
	骨材（寒水石）	3厘8kg、5厘8kg
	水道水	2.5～3kg

## ●塗付け

### 1. シーラー塗布

配 合	シーレックス AF5000	16kg
	清 水	48kg
塗 布 量	(4倍液)	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>
施工方法	ローラー、刷毛又はエアレスガン 2回塗り（1回目乾燥後2回目塗布）	

1~24時間

### 2. 下塗り

塗 厚	0.5~1.0mm厚 約30m <sup>2</sup> /1セット	
施工方法	金ゴテにて平滑に塗布する。	

4時間以上  
乾燥を確認後、次の工程に移ってください。

### 3. 上塗り

塗 厚	約3mm厚 約8.5m <sup>2</sup> /1セット+骨材	
施工方法	金コテにて平滑に材料を配る。	

追いかけ（5分以内）

### 4. パターン付け

○くし目ヘラを横方向に引っぱり、櫛引き模様のジョイント部分がランダム（図-1）になるようパターンを付ける。

### 5. 養生撤去等

- 養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐに撤去できない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行う。水切部などにバリが出ている場合は、カッターナイフ等で除去する。
- 施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする
- 足場つなぎ部を確認し、必要であればタッチアップ補修する。

## ●パターン付けのポイント

- ・最初に目安となる線を横方向に引く。この線を基準線として細かいパターン付けを行う。
- ・次に、くし目のジョイント部分が目立たないよう、千鳥状に模様を付ける。細かくパターン付けを行うと、パターンつながが目立ちにくくなり、バランスのとれた仕上がりになる。(図-1)
- ・くし目ヘラは、パターン付けを行う進行方向に対して、45度程度傾けてパターン付けを行う。
- ・くし目ヘラは、常にきれいに保つよう、ウエスなどで余分な材料を除去する。くし目ヘラに材料が付着したまま、パターン付けを続けると、パターンが汚くなる。

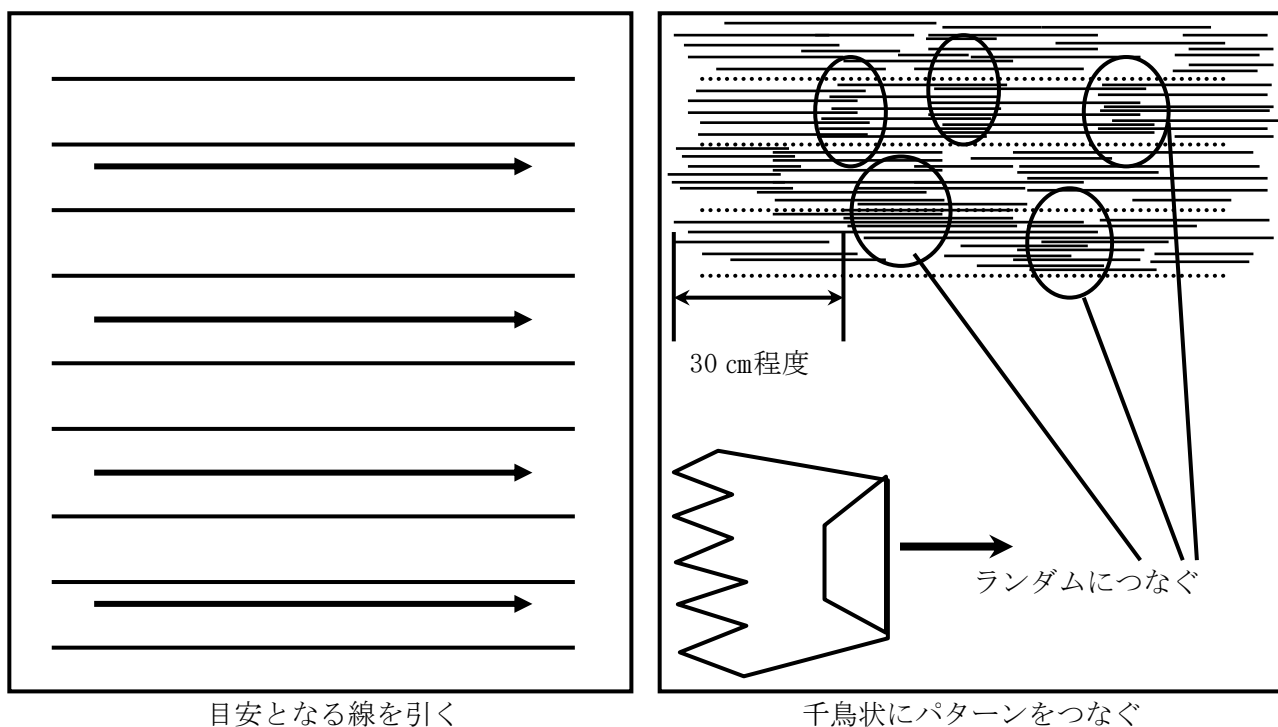


図-1

## ●注意事項

### <使用上の注意>

- 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり・乾燥性を確認してください。
- 工事中は周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう養生テープにて養生を行ってください。
- キャンドル Hi は表面の皮張りが早いため、上塗り後、速やかにパターン付けを行ってください。表面が乾燥してしまうとパターン付けが出来なくなります。また、直射日光などの急激乾燥を避けて施工してください。
- 乾燥を確認した上、塗り継ぎ時間に注意してください。同一面は連続して施工してください。特に大面積を施工する場合は、作業員の増員や化粧目地による分割をご検討ください。
- 練り水、容器、攪拌機などはきれいなものを使用してください。
- 施工中および乾燥までの降雨・降雪は避けてください。
- 使用後の器具はお湯または水にて洗浄してください。
- 製品ロットにより多少のバラツキがあります。

### <安全上の注意>

- 本製品取り扱い前に SDS を確認し、良く理解したうえで使用してください。
- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、直ちに清浄な水で目を洗浄し、眼科医の手当を受けてください。
- 室内で使用する場合は換気を十分とってください。
- 飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けてください。
- 取り扱い後は頭、手、口等を十分洗浄してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。

### <保管上の注意>

- 製品湿気・凍結・直射日光を避け、気温 5℃以上 40℃以下で保管してください。
- 開封した材料は早めに使い切ってください。
- 製造年月日より、1年以内に使用してください。

### <輸送上の注意>

- 漏出を避けるため、容器の損傷がないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行ってください。
- 降雨等の水ぬれに配慮してください

### <廃棄上の注意>

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### <その他>

- 本施工マニュアルは諸般の事情により改訂される場合があります。使用にあたっては最新版であるかを確認してください。
- その他各製品包装などに記載の注意事項に従ってください。

本製品の問い合わせ先

富士川建材工業株式会社 営業部 TEL045-772-1811